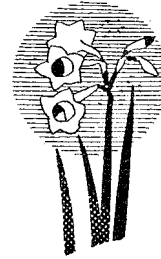


農業



平成23年2月号
会誌 No. 1543

目次

巻頭言

TPPのまえに考えたいこと……………進士五十八 3

論壇

農学的な経済学……………生源寺真一 4

農業懇話会

生物多様性条約第10回締約国会議及び

カルタヘナ議定書第5回締約国会合について……………木内 岳志 6

生物多様性とは何か

生物多様性条約の概要

生物多様性をめぐる国内の動向

食料及び農業のための植物遺伝資源に関する国際条約 (ITPGR)

質疑応答…………… 19

農業技術開発研究会

里地里山文化論 (第2部)…………… 21

意見交換…………… 21

農学の場所性, 総合性, 形成均衡

21世紀の食料増産の方向性

人口問題と農学

価値目標を持った学問とは

農学の成果の受益者

世界農林業適性配置の構想

寄稿

口蹄疫の検証と今後の対策……………山根 義久 33

口蹄疫とは

口蹄疫検証委員会におけるとりまとめ

今回の防疫対応の問題点

今後の改善方向

農業情報

平成23年度農業関係予算案の概要…………… 44

農業・農村の現場から

新技術と新政策活用で地域農業を活性化……………上瀧 孝幸 52

－佐賀県佐賀市中山間地域，須田集落の集落営農－

世界の農業は今

フランスの有機農業振興……………石井 圭一 59

－有機献立給食の普及をめざして－

東京農業大学収穫祭から(Ⅲ)

地雷・不発弾問題から考える，自分たちができる国際協力

……………アジア・アフリカ研究会 65

農政情報

…………… 69

大日本農会だより…………… 70

表紙写真説明

厳冬の芹摘み（秋田県湯沢市関口）

春の七草，せり，なずな，ごぎょう，はこべら，ほとけのざ，すずな，すずしろのひとつの芹，秋田県湯沢市の「三関の芹」は，愛好家が好む芹である。奥羽本線の三関駅周辺が三関地区，その中心地が関口である。厳冬期に三関地区で芹が，多くはお年寄りの作業でていねいに摘み取られている。

湯沢市は，秋田県の最南端，山形県と宮城県に接している，米どころである。雄物川上流域に拓けた良質多収の稲作地帯で，酒造好適米の生産量が県内の7割を占め，果樹・野菜・畜産も盛んで，環境と調和した農業を目指して取組んでいる。湯沢の特産品には，清酒，稲庭うどん，三梨牛・皆瀬牛，三関さくらんぼ，駒形りんご，大蔵ぶどう，横堀鯉，役内川鮎がある。

(写真提供：(社)農村環境整備センター)